

令和2年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	多文化共生による住みやすいまちづくり
事業主体 (連絡先)	辰野町 辰野町中央1番地 (辰野町役場まちづくり政策課)
事業区分	(3)教育、文化の振興、(4)安全・安心な地域づくり
事業タイプ	ソフト
総事業費	154,804円 (うち支援金: 116,000円)

事業内容

- 日本語教室運営支援
(教室運営委託料、講師謝礼、会場使用料、コピー使用料、ボランティアテキスト購入、パンフレットスタンド購入)
- 専門の日本語教育コーディネーターによる指導
やさしい日本語講座を3回実施 (11/8. 11/15. 1/13)
- 関係団体 (地球人ネットワーク in こまがね等) と交流しながら、日本語教室の運営支援等にかかわっていただいた。



【やさしい日本語講座の様子】

【目標・ねらい】

- ①外国籍住民の課題解決
- ②日本語ボランティアの育成
- ③外国籍住民との交流
- ④多文化共生社会の啓発

事業効果

- 外国籍住民の課題解決 日本語教室の支援、関係団体との交流を図ることで外国籍住民の日常生活に必要な課題を解決することができた。
- ボランティア育成による課題解決 講座等を通じて外国籍住民が理解しやすい日本語の言葉選びや話し方を学ぶことができ、協力できる人材を増やすことができた。
- 地域における多文化共生の啓発 広く周知することで意識啓発が図られた。
- 情報発信の強化 情報コーナーの設置、新たに開設した Facebook から情報発信をすることで必要な情報を届けることができた。

※自己評価 【B】

【理由】

コロナの影響により、予定していた事業ができなかったが、日本語教室の運営支援や講座の開催など、できる限りの取り組みができた。

今後の取り組み

- 日本語教室を毎月2回開催し、また、イベント等で交流の機会を増やしながら日常生活での課題を解決できるように取り組む。
- 辰野町だけの取り組みではなく、関係団体 (地球人ネットワーク in こまがね) との連携を深め、まずは上伊那に交流の輪を広げていきたい。
- 現在はボランティア団体を中心に活動していますが、今後の取り組みの持続性・発展性を考えると支援が必要であるため、関係団体、長野県国際化協会、長野県国際課等と連携を強化して取り組む。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある